

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	かかりつけ医普及促進事業			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定)年度	平成29年度	担当課室	地域医療計画課在宅医療推進室	室長：伯野 春彦	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	身近な医師が、患者の状態や価値観も踏まえて、全人的な医療サービスを提供し、また適切な医療を円滑に受けられるよう支援できる体制を構築する。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	・H28年度(定額) 地域の病院・診療所における外来機能の実態や、診療以外の社会活動等の実態把握のための調査を実施する。 ・H29年度(定額) 患者の受療行動に着目し、複数の疾患を抱える患者について、受療行動の違いがもたらす患者のアウトカムへの影響等に関する調査を実施する。						
実施方法	委託・請負						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	21	21	
		補正予算	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
	計	0	0	21	21	0	
	執行額	-	-	9			
執行率(%)	-	-	43%				
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	43%				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	保健福祉調査委託費	18.4					
	委員等旅費	1.5					
	諸謝金	0.9					
	庁費	0.2					
	計	21	0				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度	
	初診で診療所を受診する 患者数の増加	初診で診療所を受診する 患者数(目標値「前回調査 以上」、3年ごとの調査のた め、次回は、29年度調査実 施予定)	成果実績	%	63.4	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	-	63.4
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	患者調査(初診で診療所を受診する患者数/外来診療のうち初診の患者数)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	本調査の回答率	活動実績	%	-	-	29.2	-	-		
		当初見込み	%	-	-	45	30	-		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位あたりコスト=X(執行額)/Y(本調査の回答率)	単位当たり コスト	千円	-	-	296	615			
		計算式	X/Y	-	-	8,640/29.2	18,449/30			
政策評価、経済・ 財政再生 アクション・プログラム との関係	政策評価	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること							
		施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)							
		測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
	測定指標		実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	本事業を実施することにより、全人的な医療サービスを提供し、また適切な医療を円滑に受けれるよう支援できる体制を構築することができ、良質かつ適切な医療を提供することができる。									
	改革項目	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	かかりつけ医の普及は、社会保障制度改革国民会議や骨太の方針等でもその重要性が指定された重要課題であり、国費を投入する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	かかりつけ医の在り方等の制度面での議論に資するための事業であり、国が実施する必要がある。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	社会保障・税一体改革大綱の趣旨に沿った重要な施策であり、優先度は高い。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	公募により応募のあった事業者から、外部委員を含む評価委員会により選定しており、選定は妥当である。			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	国が今後の施策の方針等を示すための事業であって、国が全額負担すべきであり、負担関係は妥当である。			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	合理的でかつ必要な経費に限られているため、単位当たりコストの水準は妥当である。			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的の達成に必要なもののみ補助を行っており、真に必要なものに限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	作業の効率化が図られたことで、経費削減に努めたものであり、妥当である。			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	現時点では把握できていない。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	△	見込みより少なかったが、調査結果について十分な分析が行われており、実効性の高いものとなっている。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	活動実績が見込みより少なかったことについて、回答率の向上が求められる。また不用率について、作業の効率化によるものであるが、より適正な執行が求められる。				
	改善の方向性	活動実績を踏まえ、調査票の見直しや回答率向上のための工夫を検討する等事業の精査を図る。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	新28-001					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
9百万円



【一般競争入札(総合評価)】

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
9百万円

かかりつけ医をより政策的に推進するため、現に地域で活躍するかかりつけ医の業務実態を把握し、役割の明確化、キャリアパスの設定や国民への啓発策等を含めた「かかりつけ医制度のあり方」について、今後の検討に向けた基礎資料を作ることを目的とする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

